

『八重山毎日新聞』

2018(平成30)年1月15日(月)掲載。

にしのもり保育園長

子どもたちが絵本を読み聞かせる大人へ、自由にいろいろな事を言っておどろかせるのが面白かった。やはり主役は子ども。これからも地域に開かれた保育園を目指し、楽しいイベントを取り入れていきたい。

くよーなーら
— こんにちば —
いけだてつこ
池田哲子さん(60)



にしのもりで絵本ライブ

秋山さんが愉快的読み聞かせ

4月1日に開園予定の社会福祉法人にしのもり保育園(池田哲子園長、定員90人)が14日午前、同所で絵本ライブを開き、「はなかつぱ」などで知られる絵本作家・秋山匡さん(53)が那覇市で愉快的読み聞かせや歌などで親子連れ約200人を楽しませた。

秋山さんが自作の絵本表情豊かに絵本を読み上げる秋山匡さん(手前左)と絵本の世界に引き込まれる子どもたち(14日午前、にしのもり保育園)

「へんしんトンネル」や「めうしくんとこんにちは」を表情豊かに読み上げると、子どもたちはたちまち絵本の世界に引き込まれ、約1時間笑い声が絶えなかった。

池田園長は「地域の人々に園に親しんでほしくてイベントを開いた。開園してからも地域に開かれた園を目指し、皆で楽しめるイベントを開いていきたい」と抱負を語った。

娘の優歩ちゃん(6)や息子の吾藍ちゃん(4)と参加した宮良朋子さん(41)は「大きな声で笑ってもいいイベントなので、子どもたちも心置きなく笑って楽しそうだった。またあったら来たい」と話した。

同園は県内で福祉事業を行っている沖縄県社会福祉事業団(金城敏彦理事長)の13箇所目の施設。職員は事務員、保育士、調理師、栄養士など計24人。